

第2日 1月29日(土) 2部

14 社会、地歴・公民部会(小・中・高)		部会テーマ	「主体的・対話的で深い学び」 を目指した授業づくり	
内 容	新学習指導要領では、社会科、地理歴史科、公民科において育成を目指す資質・能力や教科としての「見方・考え方」が示され、児童生徒の「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善が求められている。そこで本部会では、小・中・高の実践研究発表を通して、「深い学び」及び学校段階間の学びのつながりを考える。			
指導助言者	県教委事務局高校教育課 大森 淳子	企画・会場係	総合教育センター	小川 智
記 録 係	総合教育センター 伊藤 聡	機 器 係	総合教育センター	田中 正孝
機 器 係	総合教育センター 興野 寛久	受 付 係	総合教育センター	山崎 浩之

実践発表① 自ら社会に関わり、他者と協働しながら豊かな未来を創造しようとする子供の育成
～第6学年『新しい日本、平和な日本へ』の実践を通して～

宇都宮市立横川東小学校 島田久美子

本校の社会科は、主体的・対話的で深い学びを通して、よりよい社会の形成に参画する力を育てる授業を目指して、4つの研究の視点を設定し、研究を進めた。6年生の「新しい日本、平和な日本へ」の事例を中心に、実践の成果と課題を発表する。

実践発表② 主体的に社会に関わり、思考力・判断力・表現力を育成する授業構想
～中学校社会科第3学年での実践を通して～

宇都宮市立陽北中学校 山中 雄司

令和2年度後期内留での研究テーマ「思考力・表現力・思考力を育成するための単元づくり」の考察をもとに、今年度中学校3年生で行った歴史的分野・公民的分野での「生徒が主体的に学ぶ授業構想と授業改善の取組」と「思考力・判断力・表現力を育成する単元づくり」の実践について発表する。

実践発表③ 高等学校歴史領域における『思考力・判断力・表現力』を育成する指導の工夫
～ICTの活用により学習者中心の授業をデザインする～

県立学悠館高等学校 石田 幸太

高校歴史領域において、ICTを活用することで「知識・技能の習得」と「思考力・判断力・表現力の育成」を図った授業実践を発表する。また、GIGA スクール端末の同時性・個別性・双方向性を利用することで、個別最適化された学びにつなげる手法について考える。

指導助言

県教委事務局高校教育課指導担当 大森 淳子